

「さざなみ」の各グループが活動を開始

富浦協働つうしん

6月9日(木)

コミュニティカフェ「びわ茶房」が開店

富浦地域づくり協議会「さざなみ」の各グループが活動を開始しました。その1つがコミュニティカフェ「びわ茶房」です。「びわ茶房」は、地域の人が気楽に立ち寄り、話し合い、情報交換等ができる居場所の1つとして、育っていくことが期待されます。



日時… 毎週水曜日の午後1時30分から2時間ほど
場所… 元気倶楽部の交流室
内容… 挽きたてのコーヒー、紅茶、ハーブティにお菓子を付けて1000円で提供。

参加者でテニスを愛する方々も、このカフェには、多くの方々が集まっています。

お菓子は、NPO法人生活自立研究会(富浦作業所)のパウンドケーキまたはクッキーを提供。多くの方々の参加をお待ちしております。日程の都合で休ませて頂く場合も有ります。問い合わせは、富浦地域づくり協議会事務局(047012014744)



しゃぼん玉やかざ車で遊びませんか!



子どもの頭よりも大きなしゃぼん玉

富浦保育所の園庭でしゃぼん玉やかざ車で子ども達を遊ばせませんか。七色のしゃぼん玉をみんなで飛ばしましう。ぜひ親子で富浦保育所に遊びに来て下さい。

1. 実施日: 6月、7月は日曜日と祝日
2. 時間: 午前10時~12時
3. 費用: 無料
4. 雨天: 中止



力強く回る手づくりのかざ車

保育所の園庭のご利用にあたっての注意点

1. 必ず保護者が付き添って下さい。
2. ひも、フードの付いた衣服の着用は避けて下さい。



私のイメージする「軽スポーツの普及」

藤浪一郎さんの話



4月末に第2回ゴルフ教室を開きました。旧八東小学校のグラウンドに30名余りのメンバーが集まり、約2時間ランドゴルフを楽しみました。当初、懸念されていたグラウンドの広さもみんなの工夫により、解決できました。今後、多くの課題を、皆さんで話し合いながら解決し、軽スポーツの普及に尽力していきたいと思っております。

富浦の現状

要介護認定者数は急増

近年、富浦町の要介護認定者数は、図1の通り急増しています。具体的には、ここ10年間で約7割増しとなつています。また富浦町の65歳以上の人口(現在1800人弱)は、今後も増加を続け、10年後には、富浦町の人口の4割を超えることが予測されています。

このことから、今後も要介護認定者数は、増え続けると予想されます。住みやすく、元気な富浦を目指して、富浦の現状と今後を、皆さんと一緒に考えてみませんか。

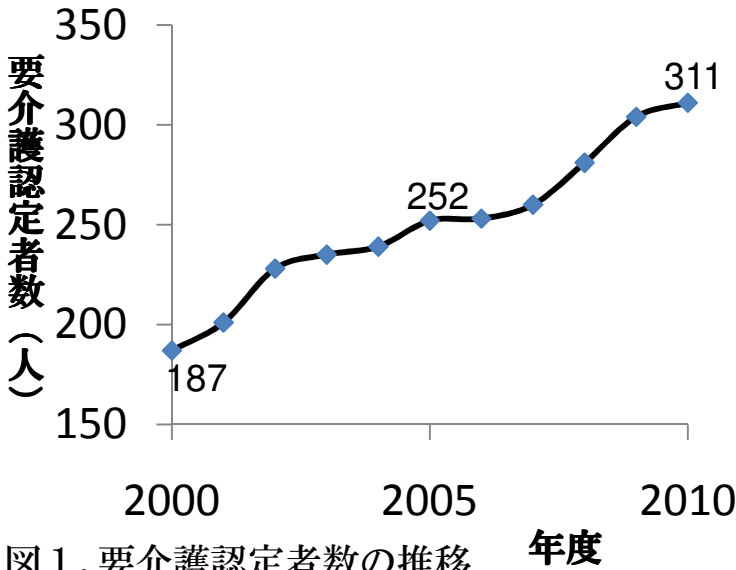


図1. 要介護認定者数の推移 (要支援者数を含む)

A. 0さんの思い：元気で楽しくグランドゴルフ

多くの仲間達と大房公園で、週3回グランドゴルフの練習に励んでいます。また他の地域の人達との交流戦を含め、月平均2回の試合にも参加しています。



これらの活動は、とても楽しく、心と体の健康増進にとっても効果的です。

皆さんも私達と一緒に体を動かしませんか！



中学生の県選手権(ソフトテニス)が6月末に予定されています。その予選通過を目指して、富浦中学校の生徒達が毎日練習に励んでいます。予選の通過ができるといいですね。

生徒達の熱気で、見ている私達も元気が出てきます。

県選手権大会の予選通過を目指して

富浦の昔ばなし

原の虫送り

昔はこの集落でも田植えが終わりますと「虫送り」を行いました。農薬が普及したため、今は原と青木の集落だけしか行いませんが、これは神仏の御力を借りて、稲作の害虫ウンカやズイムシを追放しようという、農村だけに伝わる民俗行事なのです。

原の集落の虫送りとは、どんなことをするかといいますが、クザイの役員が決めた期日に、先ず、皆が農道の草刈を行つてから氏神の愛宕神社に集まります。神官から虫送りの祈祷と御祓いを受けると、割り竹や藁で作った大きなタイマツと虫籠を持って、全昌寺の前から始め、(昔、クザイの井戸があった所だからという)集落中の稲田を廻り、最後は岡本川にそのタイマツと虫籠を流して終わりになります。

今は大人だけで行いますが、第二次世界大戦前までは子供もたくさん集まりましたからたいそう賑やかでした。長い行列が鉦をカンカン叩き、

「オークンド、オークンド、イネムシオークンド。」と大声で歌い、夜中まで稲田を廻り歩いたので、すから、まるでお祭りのような騒ぎだったわけです。



著者 生稻謹爾氏